

【家庭分野】

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を次のように育成する。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1) 授業の受け方・きまりについて

- ・授業は集中して受ける。
- ・提出物などの期限や時間を守り、忘れ物のないようにする。
- ・期末テストだけでなく、授業に取り組む姿勢や課題に丁寧に取り組み、期限を守って提出することも評価をつける際に重視する。
- ・話し合いやグループ滑動を行うときは、相手を否定せずにお互いを認め合い、様々な意見を取り入れるようにする。

2) 持ち物

- ・筆記用具
- ・教科書『技術・家庭 家庭分野(開隆堂)』
- ・家庭科ファイル
- ・『新技術・家庭科総合資料(正進社)』

※その他必要な持ち物はその都度生徒に連絡します。

3) 定期テストについて

- ・テストの内容としては、主に授業で行ったワークシートやプリント、教科書を中心として出題します。授業中に大切なことを伝えますので、しっかりと聞き、チェックをしておきましょう。

- ・家庭科ファイルには、今までやってきた課題、授業で使ったワークシートやプリントを全てとじてください。
あとで習ったことを復習したり、テスト前に振り返ることができます。
- ・家庭科ファイルは定期テスト後に回収しチェックします。プリントがすべてあるか普段から確認してください。

4) その他

- ・授業で渡したプリントやワークシート、課題は絶対になくさないようにしましょう。万が一なくしてしまった場合は、もう一度渡すことができますので、必ず相談してください。

5) 学習内容

【第1学年・家庭分野】 35時間

| 時間 | 学習のねらい | 単元名・題材名 | 学習活動・学習内容 | チェック |
|----|---------|-----------------|---------------------------------------------------------------|------|
| 4 | 家族・家庭生活 | 自分の成長と家族・家庭生活 | ① 今の自分とこれまで ② 家庭を支える社会 ③ わたしたちの家庭生活と地域 | |
| 3 | 衣食住の生活 | 1 目的に応じた衣服の選択 | ① 衣服で伝わるメッセージ ② 自分らしくコーディネート ③ つなげよう和服の文化 ④ 上手な衣服の選択 | |
| 5 | | 2 日常着の手入れと保管 | ① まかせて衣服の手入れ ② 布の繊維に応じた手入れ ③ めざそう洗濯名人 ④ 補修や収納・保管 | |
| 16 | | 3 生活を豊かにするものの製作 | ① 製作の計画 ② 生活を豊かにする物の製作 ③ 環境に配慮した衣生活 | |
| 7 | | 1 住まいのはたらきとこちよさ | ① 住まいのはたらき ② 住まいの空間 | |
| | | 2 安全な住まいで安心な暮らし | ① 家庭内事故への備え ② 災害への備え | |
| | | 3 持続可能な住生活 | ① 持続可能な住生活をめざして | |

次年度「食生活と自立」「身近な消費生活と環境」を学習します。

【観点別評価】

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力 | 学びに向かう力、人間性等 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○衣服の適切な選択ができる。 ○衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 ○布を用いた製作をすることができる。 ○衣服と社会生活との関わりが分かり、衣服の適切な選択について理解する。 ○衣服の計画的な活用の必要性が理解できる。 ○家族と生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○実践に結び付けられるような、家族関係をよりよくできる方法を考えることができる。 ○目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 ○布を用いた製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 ○家族の安全を考えた住空間について考え工夫する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○家族とのかかわりや、これからの自分の生活に関心を持つ。 ○衣服の選択と手入れに関する学習に関心を持つ。 ○生活を豊かにするものの製作に関心を持って意欲的に取り組む。 ○災害に対する安全について考え、自分との生活と結び付けて意欲的に取り組む。 |